

平成29年10月19日

## 神戸大学の深江丸にて「乗船研修」を実施

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、10月9日から10月11日及び10月11日から10月13日の2回にわたり、神戸大学練習船・深江丸（矢野吉治船長、伊丹良治機関長）にて「乗船研修」を実施した。

本研修は、当会の人材養成事業の一環として、日頃乗船する機会の少ない会員企業の社員を対象に、船舶及びその運航に必要な船用機器類への理解を深めることを目的として実施しており、平成20年度の事業開始から10年目を迎えている。

今年度は26社から合計59名が参加し、深江丸の船長、機関長及び海事科学研究科の瀧真輝准教授の指導のもと、機関室見学、操船体験、操練及び座学研修を実施した。また日頃関わりの少ない同業他社の社員との親睦を深めるために、本船の乗組員も交えて船内で交流会を行った。神戸大学深江キャンパスから明石海峡を経て高松港を2泊3日で往復する短期間の航海であったが、船上生活を体験できる貴重な機会となった。

参加者からは、「自社製品が実際に船内に搭載・利用されている様子を見学でき、理解が深まった。」、「普段見る機会が少ない機関室や船橋を見学でき、今後の業務に活かすことができる。」などの感想が多くあり、研修生にとって有益かつ充実した内容の研修となった。

以上



10月9日～11日実施の神戸大学・深江丸乗船研修の参加者の様子



10月11日～13日実施の神戸大学・深江丸乗船研修の参加者の様子